

タルニヨリ始メテ其纏リタル意見ヲ知ルヲ得タリ戰亂久シキニ互リ交通不便ノ爲メ歐洲ヨリ雜誌ヲ得ルノ極メテ困難ニシテ且ツ稀レナルヲ以テ未ダ此等論文ニ接セラレザル斯學者ニ對シテ參考ノ一助トモナランコトヲ慮リ且ツ宮部逸見兩氏ノ好意ニ酬イン爲メ本誌ノ餘白ヲ借リテ其全文ヲ茲ニ轉載スルコト、セリ(編者云フ、茲ニ當ニ掲グベキ右轉載文ハ歐字ナルノ故ヲ以テ姑ク之ヲ本誌ノ歐文欄内ニ移シ載セタリ)

○艸 樂 談 片 (其二) (承前)

東京 岸 田 松 若

●紅花ノさいはいらん

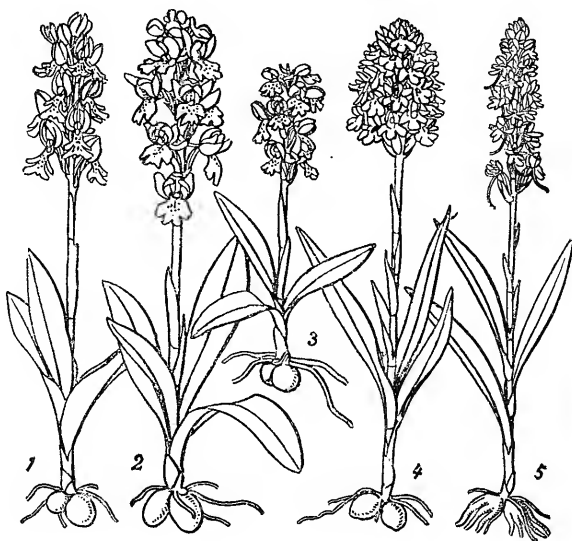
やうはいらん *Gremasira appendiculata* MAKINO. ハ本邦隨處ニ産スル蘭科植物ノ一

品デアアル其地下ニ存スル塊莖ハ粘液及澱粉ニ富ムヲ以テ之ヲ歐羅巴ヨリ産出スル「サレップ」根(*Radix Salep.*)ニ代用シ包攝藥トシテ胃「カタル」等ニ應用スル、五月ノ末葉側ニ一莖ヲ抽クコト一尺許少シク暗紅紫色ヲ帶ビ莖梢三五寸多クハ一侧ニ偏シテ穗狀ニ花ヲ綴リ多キハ二十ニ及ブ花蓋ハ淡黃褐色牌瓣ハ白色ヲ帶ビテ紅紫色ノ美シイ斑點ガアルノヲ普通トスル然ルニ草木圖說ニモ日本產物志ニモ大和國多武峰ニハ紅花ノ品ヲ産スル事ガ書イテアル大和國宇陀郡農會ニ中北幾次郎君ナル人ガアル會マ多武峯ニ藥草ヲ探ル際紅花ノさいはいらんヲ得テ尙同山ニ産スルモノハ多クハ紅花ナル由ヲ報ゼラレタ大正六年ノ初夏大和ニ遊ンデ中北君ヲ宇陀郡松山町ニ訪レ其採ル所ノさいはいらんヲ見セテ貰ツタ其レハ正ニ紅花ノ品デアツタ

松山町ハ享保年間本草學ノ碩學森野養郭ヲ出シタ地デ其邸ハ今尙當時ノ趾ヲ存シテ庭内ニハもくげんじ、ちがたまのき、はなのき、にくけい等ノ抱餘ノ巨樹ガ繁ツテ樹下ニハイロイロノ藥草ガ僅ナガラニマダ昔ノ面影ヲ殘シテ居ル中ニモ *Aconitum longicaesidatum* NAKAI. ト思ハレルいじんさうガアル此等ハ幕府カラ拜領ニナツタモノダロウト思フ余ハ中北君ト此園内ヲ歩イテ居ルト逕側ノ樹蔭ニ紅花ノさいはいらんガ花ヲ著ケテ居ル

ノヲ見タ以前カラアルモノデ或ハ賽郭ナドガ採集シテ植エタモノカモ知レナイ中北君ハ同郡大野村三本松ト云フ處デモ紅花ノ品ヲ採ツタノデ自分ハ大和邊ノさいはいらんハ大概ハ紅花ノモノガ普通ナノデハナイカト思ツタ、翌日中北君ト室生山ニ登ツタガ同山ニモ亦其途中ニモさいはいらんハ澤山ニ有ツタガ皆紅花ノ品デアッタ此紅花ノさいはいらんハ形狀ニ於テハ普通ノモノト少シモ異ラナイガ花蓋ガ著シク紅色ヲ呈シ脾瓣ハ殆ド紅紫色デ時ニ或ハ僅ニ白斑ヲ存スル、花莖モ亦著シク暗紫紅色ヲ呈シ籜ハ淡黃褐色デ少シク暗紫紅色ヲ帶ビ同色ノ細點ヲ滿布シ暗色ノ脈條ヲ有スル葉柄モ稍暗紫紅色ヲ帶ビテ居ル東京邊ノ高尾山ナドニ産スルモノヨリモ餘程奇麗デ庭ニ植エテ眺矚ニ値スルモノデアアル斯クテ余ガ關西ノ旅ヲ終ヘテ歸ツタラ其前年ノ夏奈良ノ春日山デ採ツタさいはいらんガ亦紅花ヲ開イテ居タ

●「サレップ」 藥局方ニ「サレップ」(Salep)ト云フモノガアル此レハ歐羅巴中部ノ山嶺地方ニ産スル *Orehis Morio* L. (左圖) *O. mascula* L. (同 2) *O. militaris* L. (同 1) *Platanthera conopsea* Schlecht. (同 3) *Anacamptis pyramidalis* Richard. (同 4) 等ノ蘭科植物ノ塊根ヲ帶花時期ニ採ツテ花莖ヲ戴ク老根ヲ去リ洗ッテ沸湯ヲ注イデ後ニ乾シタモノデアアル、胃「カタル」等ノ場合ニ煎劑ニシテ刺戟ヤ痙攣ヲ防グ目的デ包攝等トシテ用キル、成分ハ植物纖維素 (Cellulose) ニ類スル粘液即チ「アムモニア」銅溶液ニ全ク溶解シ又硝酸ニヨツテ粘液酸ヲ作ラナイ擬粘液 (眞正粘液ハ硝酸ヲ以テ酸化スルトキハ粘液酸 $C_4H_4(OH)(COOH)$ ヲ作ル) ト澱粉トデアアルガ澱粉ハ精製ノ際熱湯ヲ注イダリ若クハ熱湯中デ洗ツタリスルノデ凝固 (糊化) シテ居ル「サレップ」ハ既ニ太古ヨリ藥用ニ用キラレ又ハ食用品トシテモ知ラレテ居タ、其「サレップ」ナル名稱ハ中古アラビアノ醫者ニ始マツタモノデアアル、小亞細亞地方デモ何カ蘭科植物ノ塊根ヲ「サレップ」ト同様ノ目的デ用キ印度デハ *Eulophia* 屬ノ根ヲ用キルト云フ、日本デハさいはいらんノ塊莖ヲ用キルコトハ前ニ書イタガ尙此外歐羅巴デ「サレップ」ニ用ウル *Platanthera conopsea* Schlecht. (てがたちどり) ハ日本ニモアルシはくち



1. *Orchis militaris* L. 4. *Anacamptis pyramidalis* Rich.
 2. *Orchis mascula* L. 5. *Platanthera conopsea* Schlecht.
 3. *Orchis Morio* L.

らんたん (Orchis aristata Fisch.) によほらん (Orchis pauciflora Fisch.) のびねらん (Platanthera decipiens Lindl.) 等本邦山地ニ多ク産スルモノハ皆代用ニ堪ヘ且充分ナルモノダロウト思フ此内ノ二三ノモノハ曾テ自分モ煮テ食ツタ事ガアルガ然程ニ不味イモノデハナイシ又「サレップ」ノ味ニヨク似タモノデアツタ尙 *Platanthera*, *Gymnadenia*, *Habenaria*, *Orchis* 等諸屬ノモノデ塊根ノ長大ナルモノハ大概「サレップ」トシテ用キラレハシナイカト思フ、又昔カラ漢方醫ハしらん (*Bletilla striata* Reischb. f.) ノ塊莖ヲ白及ト稱シテ藥用ニ供シテ居ルさいはいらん程デハナイガ随分粘液ニ富ンダモノデアル

○杜仲軒耨鞭夜話 (二)

横濱 杜仲軒主人 久内 清孝

▲しきみノ學名 ハ *Illicium anisatum* L. デ其異名トシ

テ *I. religiosum* Sieb. et Zucc. ト云フ稱呼ガアル事ハ誰モ知ツテ居ル平凡ナ事實デアルガストラスブルガ―氏植物學教科書千九百五年第七版ノモノニハ *Star Anise* ハ支那産ノ *Illicium anisatum* カラ得ラレルガ日本産ノ *Illicium religiosum* ハ有毒デアルト書イテアル、今日ノ新版ノモノニハ何レ訂正シテアルカモ知レスガ千九百